

# ごあいさつ

滝沢市立滝沢中学校  
校長 藤澤 英輝



本校は昭和22年4月に滝沢小学校に併設される形で開校しましたが、昭和39年篠木中学校と統合し滝沢南中学校が開校したことにより、一度その歴史に幕を閉じました。その後、昭和61年4月に21世紀を担う人材育成の場として、再び滝沢中学校という名誉ある校名を掲げ開校し、今年で創立37年目を迎えました。校舎は北西に岩手山、東に早池峰山、北東に姫神山を望む小高い丘陵に位置し、市内はもちろん盛岡市、遠くは区界高原まで遠望することができます。

滝中といえば「合唱」「応援」「清掃」。この滝中三大文化の充実発展のため、執行部を中心に全校生徒が一丸となった生徒会活動を展開しています。部活動も盛んで、特に特設駅伝部男子は、令和3年度、念願の全国中学校駅伝大会出場を果たし、これまでの県勢最高順位である4位入賞、個人でも2区間での区間賞の快挙を成し遂げました。

今年度は、4月の盛岡市内一周継走大会で男女共に3位と、ダブル入賞を果たし、幸先の良いスタートを切ることができました。6月の地区中総体では女子バスケットボール・軟式野球・柔道男女が準優勝し県大会へ出場、柔道女子が個人で全国大会へ出場しました。さらに、参加標準記録を突破した共通女子走高跳、県大会優勝の共通男子4×100mRも全国大会に出場しました。

9月の地区新人大会では、ソフトボールが優勝、軟式野球、男子ソフトテニス、柔道男女、剣道男子が準優勝、男女バレー、男子バスケ、卓球女子が3位と活躍しました。地区駅伝を大会新記録で優勝した特設駅伝女子は、県大会で3位、東北大会でも4位と、着実に力を発揮しています。

文化面でも、吹奏楽部が地区吹奏楽コンクールで銀賞を受賞、県大会に出場し、アンサンブルコンテストでは、打楽器三重奏が県大会で金賞を受賞しました。また、美術部も歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール中学生ポスターの部で金賞、明るい選挙啓発ポスターコンクールでの優秀賞をはじめ、今年も多くの入賞を果たしました。

日常の活動がコロナ禍以前に近い状況になってきました。今こそ、滝沢市の目指す学校像である「正義」と「信頼」のある学校を実現し、教育目標である「高い知性」「強健な身体」「深い思いやり」のある生徒の育成のため、ご家庭や地域の皆様方のご協力とご支援を賜りながら取り組んで参ります。今後どうぞよろしくお願ひします。

令和6年2月